

三次市三次学校給食センター 現場見学会報告

県北支部 山田 真司

■ 三次市三次学校給食センター

所在地：三次市四拾貫町10145-1

敷地面積：9005.31㎡

構造規模：鉄骨造 2階建 (2階は機械室)
ラーメン構造／直接基礎

耐火性能：任意準耐火建築物

施工期間：令和4年3月～令和5年6月

発注者：三次市長

設計・監理：大旗連合建築設計(株)

建築施工：(株)加藤組

電気設備：光栄電工(株)

機械設備：(株)中電工・備北設備工業(株)JV

令和5年6月3日に、三次市で建設中の学校給食調理場の建設現場で見学会が開かれました。この給食調理場は、三次市内の老朽化した調理場を統合建替する計画で、最大1日4,000食の給食を調理する規模で計画されています。

当日は、前日までの雨天が一転し天候にも恵まれ、30名の参加がありました。

はじめに、発注者の三次市の担当者の方や設計者の大旗連合建築設計の担当者の方から設計の概要が説明されました。調理場は基本的には食品工場となるわけですが、学校給食調理場という性格上、食育の観点から見学への対応も考えられた施設となっており、一般の来場者が利用できる研修室は調理場の一部が見学できるようレイアウトされていました。また、研修室から見えないところはICT設備を利用した見学を行える予定となることです。

見学会の当日は、設備工事が終盤を迎えたところで、調理器具なども概ね設置がされている状態でしたが、普段この規模の調理設備を扱うことがないため、設備面でも興味深い現場となっていました。調理場ということもあり、衛生面には細心の注意が払われており、平面プラン上も衛生管理区分に従い人の移動を制限できる計画となっていました。また、最近は衛生管理上床をできるだけ濡らさないようにする計画となっているため、参加者の中でも、場内の排水計画について熱心に意見交換がなされている姿が印象的でした。

一旦稼働が始まるとなかなか場内を見学する機会がない施設でもあり、大変貴重な経験となった見学会でした。ここで作られた給食が、たくさんの子どもの笑顔につながることでしょう。



MONTHLY 建築士 HIROSHIMA No.184 令和5年8月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号
TEL(082)244-6830(代) FAX(082)244-3840 URL <http://www.k-hiroshima.or.jp/>
e-mail : info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会長 井本 健一
編集人 広報委員長 梶川 彰彦

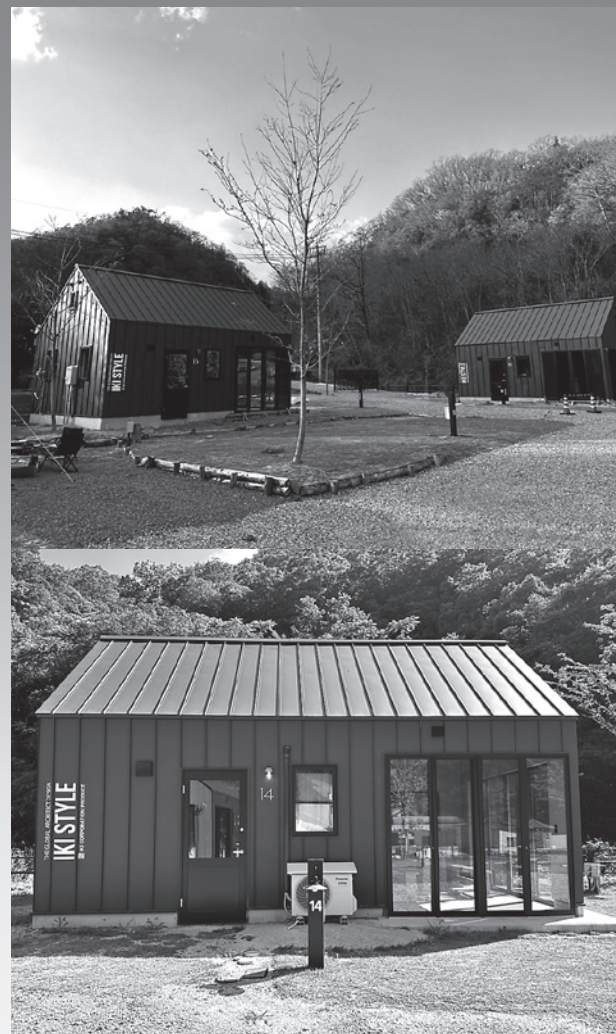


表紙写真について

鮎の里公園 タイニーハウスコテージ

- 設計・監理／有限会社IKIコーポレーション
- 施 工／有限会社IKIコーポレーション
- 所 在 地／広島県庄原市口和町永田1641-1
- 用 途／宿泊施設
- 構 造 規 模／木造平屋（ロフト付）
- 敷 地 面 積／キャンプ敷地内の2区画
(No' 14／約132㎡・No' 15／約107㎡)
- 延 床 面 積／36.36㎡（内ロフト3.24㎡）
- 竣 工 日／2023年4月20日

庄原市口和町にリニューアルオープンした【鮎の里】キャンプエリア内に建築した2棟のタイニーハウスコテージ。キャンプグッズを持たなくても気軽に自然の中で楽しめる宿泊施設をとのご要望により設計しています。それぞれシャワーブースとミニキッチン、トイレとロフトを備えたリビングスペースと雨天でもバーベキューが楽しめる土間スペースを持ち最大6人が宿泊できる仕様です。アメリカの納屋をイメージした外観は屋根と外壁とも同じガルバリウム鋼板で一体化させています。リビングとバーベキューエリアを仕切るパードア（納屋のドア）の1棟は100年以上の歴史を持つアメリカの古材を使いワイルドで男性的なイメージに。もう1棟はティファニーブルーとホワイトを基調に女性的なイメージを表現しています。



ごあいさつ



会員の皆さまには、日頃より（公社）広島県建築士会の活動に対し、積極的なご参加、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。3年余り続いた新型コロナウイルス感染症も本年5月8日をもって、感染症法上の分類がインフルエンザと同等の5類に位置付け

られることとなり、さまざまな面で、感染防止の制限が取り払われることとなりました。しかし、今月に入り、地域によっては医療体制が逼迫するほどの患者の増加をみており、専門家の間ではすでに9波に入ったとの見方もあるようで、なかなか予断を許さない状況です。こうした状況ではありますが、6月17日には創立70周年の記念式典及び祝賀会も無事開催することができ、実行委員の皆さまのご努力により、盛会裏に終えることができました。改めて、関係各位に心からお礼申し上げますとともに、当日表彰を受けられた会員の皆さまには、長年の建築士会へのご協力に感謝申し上げ、又今後ますますのご支援をお願いしたいと思います。又、記念事業に関しては、70周年記念誌の制作と発行を今年度末までには終えたいと、関係部会を中心に頑張っているところです。これまでの先輩たちの足跡を次世代にしっかりと伝えていけるものにしたいと思っております。

令和4年度事業は、コロナ禍の下ではありましたが、建築士試験、各種講習会もコロナ対策のもと、当初予定通り実施することができました。又、70周年記念事業の一つである、坂茂氏による講演会や3年越しの実施となった伊東豊雄氏を中心とした建築シンポジウムin尾道も無事開催の運びとなりました。会員交流事業も中止続きでしたが、本年2月には尾道支部担当にて、久々にボウリング大会を開催することができました。これから、会員交流事業も含め、会員が集って実施する事業も順次、活発になることが期待されます。

令和5年度は、従来の各種事業に加え、次の二つの課題について取り組みを始めます。今年度中の成果は不透明

（公社）広島県建築士会 会長
井本 健一

ですが、慎重かつ積極的に検討を進めて参ります。ひとつは、「木造建築物の設計・施工に係る人材育成等に関する建築物木材利用促進協定」についてです。一昨年のもので開催された全国大会広島大会にて、国交省と連合会が協定を締結しましたが、その後各県士会にて順次、協定が締結されています。広島県でも、広島県建築士会と広島県とで、この協定の締結に向けて調整を進めて参る予定です。二つめは、災害時における、避難所用間仕切りシステムの供給に係る協定です。70周年記念講演で坂茂氏から報告のあったシステムですが、坂氏の主宰するNPOと連携しながら、広島県建築士会と協定を締結できる自治体を模索して参ります。災害避難時における避難者のプライバシーの確保、生活環境の改善は、今後頻発するであろう災害時におけるこれからの一つのテーマとなると考えます。今後とも（公社）広島県建築士会が、より一層社会的役割を果たしていけるよう、諸事業を進めて参りたいと思います。会員の皆さまの活発なご意見とご参加をいただきますよう、お願いいたします。



安全で安心な住まいづくりをサポートします。



- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット35適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査

- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ 省エネ関連業務
- ◆ すまい給付金サポート
- ◆ リフォーム評価ナビ
- ◆ 地域型住宅グリーン化事業申請窓口
- ◆ ベターリビングリフォーム審査業務



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

URL: <http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
TEL (082) 228-2220 FAX (082) 228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL (084) 928-3979 FAX (084) 928-3974

令和5年度定時総会 及び 創立70周年記念式典・同祝賀会開催報告

6月17日(土)にリーガロイヤルホテル広島において令和5年度定時総会が開催されました。また、令和4年に広島県建築士会が創立70周年を迎えたことを記念して、定時総会の後に同ホテルにおいて創立70周年記念式典と祝賀会が開催されましたので、合わせて報告します。

【令和5年度定時総会】

令和5年度定時総会は、94名の出席(委任状提出者851名)で、理事の栄花彰子氏の司会により開催しました。

君が代斉唱、綱領朗読、物故会員に対する黙祷の後、井本健



一会長が挨拶され、議事に入りました。

今年度は役員改選がないため、議事事項としては、「令和4年度収支決算」の議案1件であり、事務局から議案説明と監査報告の後、全会一致で承認されました。

その後、報告事項として「令和4年度事業報告」、「令和4年度地域活動団体活動報告」、「令和5年度事業計画」及び「令和5年度収支予算」の4件の報告があり、以上により定時総会を終了しました。

【創立70周年記念式典】

創立70周年記念式典は、ご来賓をはじめ146名が出席、実行委員会式典委員長の高田由美氏の司会により開催しました。

佐名田敬荘副会長の開会宣言で開式となり、井本健一会長が「創立以来70年にわたる先人のご功績に深く敬意を表するとともに、新しい時代に求められる責任ある建築士の団体としての責務を果たして行かなければならない」と開催の挨拶を述べられました。

式典に出席いただいた15名のご来賓を紹介した後、広島県知事 湯崎英彦氏代理の副知事の田邊昌彦氏、広島市長の松井一實氏、日本建築士会連合会会長の近角眞一氏の3名のご来賓から祝辞を賜りました。

田邊氏からは、本会の活動が地域社会の健全な発展と安全で安心な暮らしづくりに貢献しているとお言葉をいただ



創立70周年実行委員会 式典部会

きました。

松井氏からは、建築に係る様々な分野での活動を通じて、地域の発展やまちづくりに寄与しているとお言葉をいただきました。

近角氏からは、広島の建築物の創造的発展に本会の果たしてきた役割を高く評価するとお言葉をいただきました。

祝電披露の後、創立70周年記念の表彰式を行いました。この度の式典における表彰者は、会員表彰が64名、賛助会員表彰が23名でした。

まず、実行委員会表彰部会の奥野功貴氏から表彰の選考経過の説明があり、表彰式では、会員表彰者を代表して家頭昌子氏、また賛助会員表彰者を代表して株式会社総合資格 広島支

店長の沼田健人氏に、井本会長から表彰状並びに記念品を授与されました。その後、受賞者を代表して、家



頭氏が、今後の本会活動への意欲と謝辞を述べられました。ちなみに記念品は卓上型のスマートフォン用のワイヤレス充電器でした。

最後に、宮地正人副会長の閉会の辞により滞りなく式典の幕を閉じました。

【創立70周年記念祝賀会】

創立70周年記念式典に続き、記念祝賀会を隣接会場に場所を移して盛大に開催しました。

祝賀会の参加者は、賛助会員13団体からの出席者も含め131名となりました。広島県副知事の田邊昌彦氏、日本建築士連合会会長の近角眞一氏などたくさんのご来賓の方々をはじめ、先に行われた式典の表彰者を含め、多くの方々に参加いただきました。

司会進行は、会員の松原綾氏に行っていただきました。

祝賀ムード溢れるあたたかい雰囲気の中、井本健一会長から開会挨拶があり、続いて、中国地方整備局建政部住宅調整官の梅田俊夫氏に乾杯の挨拶を賜り、祝宴が始まりました。

序盤に、賛助会員の企業様からのPRタイムとして、三社にご登壇いただきました。トップバッターの株式会社広島建築住宅センターより、新旧代表取締役社長の宮地正人氏・的場弘明氏による企業紹介、続いて、小型ダムウェーターのクマリフト株式会社、最後に、建築士資格取得において建築業界に多大なる貢献をされている日建学院広島校にPRをしていただきました。

中盤には、祝宴のメインイベントでもある広島県出身の姉妹デュオ「Mebius」のライブ演奏をお楽しみいただきました。



創立70周年記念事業実行委員会 祝宴部会

令和2年に開催予定だった第63回建築士会全国大会の広島開催をPRするために製作したビデオの挿入歌として「春夏秋冬～感動の瞬間をあなたとともに～」を無料使用させていただいたことを契機として、全国大会広島大会で生歌を披露していただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため広島開催が東京開催となり、全国大会での歌の披露は叶いませんでした。今回、70周年記念イベントの開催に当たり、引き続き歌を聴きたいとの声があり、改めての出演をお願いして実現した次第です。

30分ほどの時間でしたが、広島県民であれば誰もが一度は聞いたことがある曲ばかりで、素晴らしい歌声とその美貌で、祝宴に花を添えていただきました。Mebiusのお二方は、自身のPRもかねて最後のお見送りまで残ってください、感謝申し上げます。建築士会全体で応援しようという声が多くあがっておりました。

2時間近く続いた宴も、Mebiusの歌声の余韻を残しつつ、活気あふれるまま閉会へと向かいます。

最後に、宮地正人70周年記念事業実行委員長が閉会の挨拶をされ、三本締めにて無事閉会となりました。

当祝賀会の準備・運営にあたっていただいた方々をはじめ、ご臨席の皆様、関係スタッフの方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



CPD 認定プログラム(9月の広島県内実施分)

2023 年 7 月 24 日現在

日 時	プログラム名	単 位	主 催	連絡先
9／ 6	「積雪寒冷地におけるコンクリート構造物の耐凍害性」「資源の有効活用を目指した牡蠣殻ポーラスコンクリート」「変動する社会の中で、改めて環境型社会について考えてみる」	4	広島県東部生コンクリート協同組合	084-973-2155
9／ 9	高圧ケーブル工事技能認定講習会【1日目】9／9	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9／10	高圧ケーブル工事技能認定講習会【2日目】9／10	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9／12	【第2回】労働安全衛生特別教育（高圧・特別高圧電気）講習会（1日目）9／12	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9／12	H1401 事例で学ぶビルにおける給排水衛生設備の保守管理技術	6	広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9／12	既存住宅状況調査技術者講習（更新）	2	広島県建築士会	082-244-6830
9／13	H1401 事例で学ぶビルにおける給排水衛生設備の保守管理技術	6	広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9／13	【第2回】労働安全衛生特別教育（高圧・特別高圧電気）講習会（2日目）9／13	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9／13	構造設計一級建築士定期講習（FC）	6	建築技術教育普及センター	03-6261-3317
9／14	H1401 事例で学ぶビルにおける給排水衛生設備の保守管理技術	6	広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9／14	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
9／14	系統連系規程 講習会 9／14	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9／23	H1001 建築施工図作成・管理支援技術	6	広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9／24	H1001 建築施工図作成・管理支援技術	6	広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9／26	第一種電気工事士定期講習（福山）9／26	6	日建学院	03-3988-6201
9／27	高圧受電設備規程講習会（1日目）9／27	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9／28	高圧受電設備規程講習会（2日目）9／28	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237

PROJECT NEWS

ふろじえくと ニュース

令和 5 年度中四国ブロック
若手建築志(士)交流会
in 島根～開催のお知らせ

青年委員会主催

開催日時：令和 5 年 9 月 23 日(土)
～24 日(日)

開催場所：国立公園三瓶山、
世界遺産石見銀山

●9月23日(土)
三瓶山にて登山またはミニ登山
ケビンヘチェックイン、入浴
懇親会(BBQ)

●9月24日(日)
石見銀山散策(ガイド付き)
12 時 30 分解散

「女性委員会ドローン
を学ぶの巻」

女性委員会主催

女性委員会でドローン勉強会を1年かけて行う
ことにしました。テキストを買い独学する者、ス
クールに通って講習を受ける者、トイドローンを
購入し自宅とどばし始めた者etc…
資格を取得して、実際に建物調査までやってみ
よう!!と走り始めました。早速、各支部をまわり
座学、実践に挑戦予定です。まずは広～い県北
の格好の場所からお勉強です。

第 1 回： 県北 令和5年 8月 6日(日)

第 2 回： 呉 令和5年 9月 3日(日)

第 3 回： 広島 令和5年 10月22日(日)

第 4 回： 福山 令和5年 11月19日(日)

LEGO でまちづくりをしよう！
まちづくり体験ワークショップ第二段
サッカースタジアム編

広島支部青年部会主催

大人も子供もみんな大好きレゴブロック大量のレゴ
ブロックを使って、みんなで街を作ってみませんか？
第二段は来春完成予定の新サッカースタジアムです！
オリジナルの設計図を元に工区を分けてパーツご
とに製作、最終的に大きな一つのスタジアムを時
間内に完成させることが出来るかな！
大人も子供も学生も実務者もしご好きもまち好き
もみんなあつまれ～！(建築関連CPD認定・4単位)

開催日時：8月26日(土) 13:00～17:00

会 場：中区千田町3747 広島県情報プラザ

申込方法：下記URLのWEBフォームより8月
18日(金)までにお申込ください！
<https://forms.gle/FdzaiuBrZB176XGR8>

作品紹介

M House

広島地域

原田 直実

住宅を中心に店舗、集合住宅など、県内外を問わずに活動をして
います。クライアントと話を重ね、その敷地にしかない状況
を読み解いていくことで、その場に溶けこむ建築が生まれてくる
と考えています。現場にも足を運びながら多くのことを吸収し、
より豊かな空間となるように丁寧な仕事を心掛けています。

原田直実建築設計事務所
〒733-0842 広島市西区井口2-16-47-101
TEL 082-275-5215 FAX 082-275-5241
URL <https://naozane.net>
E-mail info@naozane.net

KOKAGEビル

東広島地域

鍵山 昌信

ア・ティエスでは使う人とその周辺を取り巻く環境との関係性
をデザインしています。個人住宅をはじめとし、集合住宅、オ
フィスビル、医療・福祉施設、ランドスケープなど、既成概念に
とらわれず、あらゆる角度から最適解を導き、何世代先の未来
に向けて「長生きで愛着のもてる環境づくり」を目指しています。

アティエス環境建築設計事務所
〒739-0012 東広島市西条朝日町1-14-2F
TEL 082-423-7778
URL <https://www.aties-archi.com/>
E-mail info@aties-archi.com

福善寺庫裏改修工事

尾道地域

米田 雅治

住宅、寺院、古民家改修を中心に活動しています。既存住宅改
修の専門家の育成と支援を目的とする住宅医協会とひろしま
木造建築協議会に所属しています。本年度より一般社団法人
日本建築まちづくり適正支援機構にも所属しています。仕事と
して関った建築が次世代に橋渡しできるよう心がけています。

米田雅治建築設計事務所
〒722-0035 尾道市土堂2-6-18
TEL 0848-23-3720 FAX 0848-23-3782
E-mail m-yone@mio.jp

山陽建設(株)新本社

三原地域

伏見 裕

建設会社の設計部です。設計施工物件のほか、施工物件の技術
支援をしています。今回、新本社をNearly ZEBとした経験を
生かして、省エネ建物の提案をしていきたいと思ひます。また、
BIMを導入したことで、設計の効率化やプレゼンテーション力
のアップにつなげていきたいと思ひています。

山陽建設(株)一級建築士事務所
〒723-0016 三原市宮沖1丁目8番8号
TEL 0848-62-2111 FAX 0848-62-1429
URL <https://www.it-sanyo.co.jp/>
E-mail fushimi-y@it-sanyo.co.jp

建築確認・検査

構造計算
適合性判定

「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに
より確かなサービスを提供します

設計
性能評価

建築
性能評価

定期報告

■ 指定確認検査機関

■ 登録建築物エネルギー消費性能判定機関

■ 住宅瑕疵担保責任保険業務

■ 指定構造計算適合性判定機関

■ 適合証明業務（フラット35）

■ 調査診断業務
（適法性調査、定期報告等）

■ 登録住宅性能評価機関

■ 長期使用構造等の確認業務

■ 建築物省エネルギー性能表示制度
（BELS）評価業務

12条点検は弊社におまかせください

株式会社 ジェイ・イー・サポート

URL <https://www.jesupport.jp/> e-mail : mail@jesupport.jp

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
TEL : 082-836-3300 FAX : 082-228-8201
東京支店：東京都千代田区神田富山町22-7F
福岡支店：福岡県福岡市中央区天神一丁目9-17-8F

指定確認検査機関（中国地方整備局長指定第1号） 登録住宅性能評価機関（中国地方整備局長登録第5号） 登録省エネ判定機関（中国地方整備局長登録第3号）
BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぽりカバーしています

Energia
中国電力グループ

HOUSE PLUS

ハウスプラス中国住宅保証株式会社

<https://www.jutakuhosho.com/>

広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町1-3-32 国泰寺ビル
TEL : 082-545-5607 FAX : 082-545-5608
広島北支店：広島市安佐南区西原6-9-40-7 TEL : 082-832-3310 FAX : 082-875-4330

6

7

M House

広島地域



設計監理／原田直実建築設計事務所
 施工／建築なかがわ株式会社
 所在地／広島県広島市
 用途／専用住宅
 構造規模／木造2階建
 延床面積／186.36㎡
 竣工日／2021年7月



市内中心部からほど近い場所にありながら、古くから続いている畑が点在する閑静な場所に位置する二世帯住宅の計画です。共有のポーチは、前面道路からの視線を遮るために袖壁を設けることでシンプルな外観をつくり、アプローチのスロープを抜けると視界の広がる開放的な軒下空間が迎えてくれます。それぞれの玄関から内部に入ると、各世帯の間に生まれた空間が共有の中庭となっており、路地裏のような雰囲気でお互いの気配を緩やかに繋げてくれます。奥にある子世帯には、隣地と建物の間に生まれた庭と路地裏的な中庭が混ざり合い、想像以上の広がりを感じることができます。また、玄関からリビングまで高さを揃えた開口部をL字型に繋げると同時に、床の高さを変化させることで、囲まれる安心感と抜ける開放感が同時に得られる空間となっています。これから年月を重ねながら、木々が育ち豊かな空間のなかで、人が集い安らぐ場になることを期待しています。



パブリックスペースをもつクリニック「KOKAGEビル」—都市の新たなホスピタリティー—

東広島地域



設計監理／アティエス環境建築設計事務所
 建築設計事務所SAI工房
 施工／大和建設株式会社
 所在地／広島県呉市西中央
 用途／診療所+物販+公共空間
 構造規模／鉄骨造、地上3階建
 延床面積／582.92㎡
 竣工日／2022年4月

本計画は、周囲に郵便局や病院などの公益施設が集まる呉の中心市街地に位置し、JR呉駅から徒歩5分という人の流れが比較的多い立地に展開する「新たな地域医療拠点」の創出である。ここでは、青年期の子供とその家族に向けた心の通った精神治療・自立支援を提供していく場を構築しながら、さらにまちや人と繋がる広場的機能を備えることで、様々なカタチの休息や交流が促される施設が求められた。この建築は、呉に根付いた“通りで交流する独自の文化”から着想し、誰もが自由に出入りできる街路空間を立体的に織り込みながら都市に奥行を生み出している。空間の自由度を高め、自然と居心地の良い場所で足を休めることのできる「木陰のような」都市的空間の創出を目指している。

敷地は幅約8m、奥行約30mの細長い形状である。その奥行を活かし、誰もが気軽に寄れる街路のような交流空間「こかげ広場」を実現している。この空間では、認知症カフェをはじめ、理学療法に関わるイベントなど、設計過程で行ったワークショップから出現した多様な目的を想定した天井の高い空間を計画している。通りに面した建具は全て開放できる機構を有し、室内外の境界が曖昧になることで、内部の活動が外部の通りへ緩やかに拡張していくことが可能になり、奥にも配置した外部空間によって自然通風を十分確保できるコロナ禍でも安心して安全な内部環境を実現している。

写真／山内紀人



福善寺庫裏改修工事

尾道地域



南東側外観

設計／米田雅治建築設計事務所
 監理／米田雅治建築設計事務所
 施工／株式会社 葉名組
 所在地／広島県尾道市長江
 用途／住宅
 構造規模／木造 平屋建て
 延床面積／263.66㎡
 竣工日／2022年2月

福善寺は尾道市街地中央の小高い丘の上にある。改修した庫裏は表庫裏の奥にある住宅で、本堂、鼓楼玄関、門信徒会館とも繋がっており、全体で延べ面積1,600㎡を超える木造建築である。

約482㎡の木造2階建て部分を平屋に減築する改修工事で、軽四しか入れない場所のため解体からほとんどが手作業となり、工事は2019年11月から2022年1月まで行った。基礎からの全面改修となり、景観地区にあるため外壁は目地の目立たないサイディングで遠目には漆喰壁のように見える艶消しの白、屋根は淡路のいぶし瓦、表庫裏との境はうだつを施した。耐震壁は杉三層パネルとし、内装は居室側を壁天井とも珪藻土塗、廊下側を杉三層パネル表しとした。断熱は壁、屋根裏とも外断熱、開口部は断熱樹脂サッシで、全館調湿熱交換換気ユニットを設置し、夏冬とも快適な住環境を実現している。



和室



LDK



全館調湿熱交換換気ユニット

山陽建設(株)新本社

三原地域



設計監理／山陽建設(株)一級建築士事務所
 施工／山陽建設株式会社
 所在地／広島県三原市宮沖一丁目
 用途／事務所
 構造規模／鉄骨造5階建て
 延床面積／2,905.37㎡
 竣工日／2023年4月

山陽建設は、三原市で70年以上続く、地元根付いた建設会社です。40年以上前に購入し、老朽化の進んだ東館と築50年以上経過した本社の業務機能をついにした、新本社を設計・施工で、建築しました。地域から頼られる三原の防災拠点となることを目指すと共に、省エネ及び創エネで環境に配慮したNearly ZEBの建物となっています。

1階は、吹抜けの中心に地域に根差し、地域に貢献し発展するといった願いを具現化したシンボルツリーを配置し、2階は、吹抜けの周りに会議室、応接室などを配置しています。また、4階には、社員の憩いのスペースと大会議室を配置していますが、稼働間仕切りを開放すれば、100名程度収容できるイベントスペースとして使用でき、災害時には近隣住民を受け入れる一時避難所として提供できるよう、三原市と協定を結んでいます。



令和5年度 青年・女性建築士の集い中四国ブロック徳島大会 — 未来創造会議 —

《概要》

今年度の中四国ブロック大会は、徳島県藍住町総合文化ホールにて6月10日（土）～11日（日）の2日間開催されました。新型コロナが、季節性インフルエンザなどと同じ5類に引き下げられたこともあり、昨年に比べ落ち着いた気持ちで参加することができました。

参加者は、現地参加307名＋WEB8名の合計315名の参加でした。今大会に参加して、自分を取り巻く環境を改めて見つめ直すことができ、今後の仕事や建築士会活動を積極的に行っていくための時間となりました。

来年は、中四国ブロック大会が広島開催となります。広島をより多くの方に知っていただき、皆さまのご期待に添える大会にしたいと考えています。協力していただける方は、いつでも事務局までご連絡ください。応援よろしくお願いいたします。



- 6月11日（土）
- 会場：藍住町総合文化ホール1階大ホール
- ・開会式、地域実践活動報告
- ・座談会
- ファシリテーター：成田悠輔氏
- オブザーバー：内藤佐和子氏
- ・講評、閉会式
- ・大懇親会 会場：クレメントホテル徳島

《地域実践活動報告》

報告会は、「建築士を広める活動」、「まちづくり、防災」、「次の世代を育てる」の3つのテーマについて、各県の地域特性を活かした活動が報告されました。広島県は、Plant the seeds for the future ～未来への種まき～として、ついに完成した「建築士ゲーム」について報告しました。このゲームを通して、若い世代の就職や進路を考える上でのツールとなつてほしい、という強い思いが込められた第一号作です。興味のある方は事務局までお問い合わせいただけると幸いです。

最優秀賞は、完成度の高いプレゼンテーションと岡山県建築士会70周年事業という大規模、かつ充実した事業を上手くまとめ上げた岡山県が受賞しました。また、中四国ブロック代表として静岡県で開催される全国大会に出場することになりました。この度の全国大会は、ブロックとして連覇がかかっており、岡山県には各県から大きな期待が寄せられました。

《座談会報告》

座談会では、経済学者の成田悠輔氏をファシリテーターに迎え、各県2名とオブザーバーとして徳島市長の内藤佐和子氏に登壇していただきフリートークをしていただきました。成田氏から、「1000年持つ家を作って欲しいと依頼されたらどうしますか？」と質問を投げかけられ会場全体にどよめきが起こりました。会場側は楽しく拝聴させていただきましたが、この時の登壇された方々の心境を察すると本当に冷や汗ものだったと思います。しかし、さすが各県の代表者です。戸惑いながらも全県それぞれの答えを出し、成田氏を納得させ建築士としてのプライドを見せてくれました。この度の本大会は、とても有意義で貴重な時間を共有させていただきました。（青年委員長 三谷 隆之）



《エクスカーショナ ー上勝町ゼロ・ウェイストセンター見学》

徳島県勝浦郡上勝町のゼロ・ウェイストセンターへ行ってきました。

「ゼロ・ウェイスト」とは、無駄、ごみ・浪費をなくすという意味で当施設は「ゴミをどう処理するか」ではなく「ゴミを生み出さない社会」を目指すゴミ処理場でゴミ収集車によるゴミの回収などを行わず、町民にてセンターへゴミの持ち込み・分別、生ゴミはコンポストを利用し各家庭での堆肥化を行っている。

上勝町の人口は約1,500人、古くからゴミ回収の文化はなくゴミ処理場へ持ち込むスタイルだったため、この「ゼロ・ウェイスト」化が町民にも受け入れられている。

また、当センターには関連施設として地産地消・食品ロス削減に配慮したクラフトビール店や、ホテル、シェアハウスなども展開している。

特に興味深かったのはセンター内にある「くるくるショップ」どなたでも欲しい人が持ち帰ることのできる「無料」のリユースショップ。セット物の食器や、ベビーカー、洋服、本など自分には不要だけど、まだ使えるものを持ち込み、欲しい人が持ち帰ることができる。リサイクルショップやC2Cのメルカリなど様々なサービスがある中、地域循環型としてけして利便性のいい地域でなくとも、このようにモノの循環を産んでいる仕組み化はとても興味深かった。

私たちの中でも「当たり前」にもなっている「新品建材廃棄の問題」にも通ずるものがあると思う。現場での仕上げ材は特に「余剰発注」によるロスはどの現場でも起きている「当り前の光景」でもある。返品が効かないものが多いので、保管できる大型倉庫や管理体制を整えるにもコストがかかる為、「廃棄」されることも多い。小規模リフォームなどでは小ロット発注ができないものは仕入コストも上がるため、「ちょっと欲しい」にこの廃棄される新品建材が生かされたならば、「ちょっと欲しいユーザーが選べる環境が作れたならば、このゼロ・ウェイストセンターのように環境配慮と循環が作れるのではないかと思う。

建築士会によるエクスカーションのきっかけがなければ知らなかったかもしれない・行かなかったかもしれない施設や仕組みを見て知れたのはとてもよい刺激となり勉強となった。

（福山支部 谷本 恵）



《エクスカーショnC ー鳴門の渦潮見学》

10：45に観光船乗り場に集合して26名の参加者が水中観潮船に乗り込み11：15に船は出港しました。雨も止み初めての渦潮観光に胸をふくらませ明石海峡大橋の下へ到着し、渦潮が出来ることを全員が期待していましたが干満の時間では無かったので、ただ荒れた海面に揺られながら頭上の明石海峡大橋を眺め帰港しました。待ち合い所で頂いた潮見表を参考に次回、リベンジを誓いました。（福山支部 竹内 貴子）

